

2022年3月19日

第117期卒団生の皆さんへ

同志社グリークラブ OB 会
理事長 森島敏夫

本日、同志社グリークラブを卒団される15名の皆さん、誠におめでとうございます。
卒団のお祝いを申し上げますとともに、同志社グリークラブ OB 会へのご入会を心から歓迎いたします。

2020年から始まった新型コロナウイルス禍は、皆さんの大学生活後半2年間に予期せぬ大きな影響を与えたことでしょう。もちろんグリーライフにも大きな影を落としたことと拝察しますが、本日卒団される15名はコロナ禍にあってもグリークラブ全員を牽引して立派なステージを創り続けた学年であったと改めて高く評価いたします。

また私の知る限り、マネージャ4名が卒団されるのは初めてではないでしょうか。頼りがいのあるマネージャとして男子部員をサポートいただいた4名の皆さんにも心から感謝申し上げます。

昨年同様のコロナ感染状況にあり、本年2月20日の第117回定期演奏会は開催そのものが危ぶまれました。練習時間もなかなか確保できないなか「定期演奏会4ステージの出来映えはどうだろう？」との懸念はまったくの杞憂に終わりました。

30名を割る団員のステージにおいて、柔らかい発声と緻密なハーモニー、そして日本語、英語、ドイツ語、エストニア語の4か国の言語で歌われた力強くかつ繊細な各ステージは、OB全員とご来場のお客様に大きな感動を与えました。

定期演奏会のみならずこの一年のステージを創りあげてきたのは、まぎれもなく本日卒団される15名であったと、改めて心から賛辞を贈ります。

皆さんが卒団したあとに残る後輩たちは、百余年の歴史のなかで最大の危機を迎えています。皆さんは、卒団後も物心両面にわたり後輩たちを支える良き先輩であるとともに、OB会にあっては新しい時代に対応して組織を変革する若い力を十二分に発揮していただきたいと切望する次第です。

結びにあたり、卒団される皆さんの未来が輝かしく豊かなものになることを心から祈念申し上げます。